

# 第 55 回 運営協議会

令和元年5月20日

林業・木材製造業労働災害防止協会愛媛県支部

# 運 営 協 議 会 次 第

日時：令和元年5月20日（月） 17：00～

場所：松山市一番町1-13

国際ホテル松山南館 1 F 鳳凰の間

1 開会のことば

2 支部長挨拶

3 来賓挨拶

4 議長選出

5 議案審議

第1号議案 平成30年度事業報告・収支決算及び剰余金処分案について

第2号議案 令和元年度事業計画案及び収支予算案について

第3号議案 役員の改選について

その他

6 閉会のことば

## 平成30年度 事業報告

平成30年度は、林災防本部の指導のもと、死亡労働災害の撲滅を強力に推進し、事業場に対する労働安全衛生に関する普及啓蒙、現地指導等の活動及び実践的なリスクアセスメントをテーマとした集団指導会を実施した。特に、愛媛県内では平成29年に死亡労働災害が発生したことから、厚生労働省、林野庁及び林業・木材製造業労働災害防止協会が連携した「伐木作業時における労働災害防止のための特別活動」を実施し、伐木等作業現場での労働災害防止のための集団指導会を開催するなど、再発防止対策に取り組んだ。

また、愛媛労働局の登録教習機関として林材業を主体とした技能講習や各種の特別教育講習を実施し、林材業労働者の安全衛生意識の確保向上に努めた。

このほか、振動障害予防対策として、チェーンソー等を使用する労働者に対し、林業巡回特殊健康診断の実施及び未受診労働者等への受診勧奨を実施するなど次に掲げる事業を実施した。

### 1 実践的なリスクアセスメント導入のための集団指導会

平成27年度から、林業及び木材製造業向けに、事業体の事業主、安全管理担当者及び現場作業班班長等を対象として、実践的なリスクアセスメント導入を図る安全教育を実施している。

今年度は、林業・木材製造業における集団指導会を次のとおり開催した。

・ 林業	平成30年9月 3日	会場：愛媛県林業会館	人数 62人
・ 〃	9月26日	会場：東宇和建設会館宇和分館	人数 42人
・ 〃	12月 3日	会場：久万広域森林組合	人数 40人
・ 木材製造業	7月24日	会場：東宇和建設会館宇和分館	人数 28人
・ 〃	8月30日	会場：伊予市保健センター	人数 24人
・ 〃	9月 7日	会場：西条市東予総合福祉センター	人数 12人
・ 〃 (出前)	9月12日	会場：今治加工(株)本社	人数 18人

## 2 技能講習及び安全衛生教育等講習

労働安全衛生法に基づく「はい作業主任者」、「木材加工用機械作業主任者」の技能講習をはじめ、各種の特別教育、安全衛生教育の講習を実施した。

今年度から、愛媛県生涯現役促進地域連携事業推進協議会からの要請を受け、「空き家管理知識習得講座」に講師を派遣した。

区 分		回数	修了者数
技能講習	はい作業主任者	4	99
	木材加工用機械作業主任者	1	14
特別教育	伐木等の業務	5	193
	小型建設機械運転業務	1	33
	機械集材装置の運転業務	1	34
	車両系木材伐出機械運転業務	3	91
安全衛生教育	刈払機取扱作業	10	247
	チェーンソーを用いて行う伐木等の業務	2	45
	造林作業指揮者	1	10
	荷役運搬機械によるはい作業従事者	1	46
(空き家管理知識習得講座)		(3)	(60)
計		31	812

## 3 振動障害の予防対策

チェーンソー等を取り扱う労働者の振動障害対策は、国が健診費の一部を助成する林業巡回特殊健康診断事業（なお、一人親方等は、林業労働災害撲滅プロジェクト事業の特殊健康診断により実施。）で実施している。当支部においては、従来どおり、愛媛労災病院に健診委託して実施した。

今年度は、事業場及び未受診労働者に対する受診指導、勧奨等を行い受診率の向上に努め、県下7会場（松山流域森林組合、久万広域森林組合、愛媛労災病院、いしづち森林組合、鬼北町保健センター、西予市森林組合、大洲市森林組合）で平成30年11月30日から同年12月14日までの間に実施し、367人（一人親方52人、雇用労働者315人）が受診した。

#### 4 林材業労働災害防止計画（5カ年計画）の目標達成に向けた取り組みの実施

- ① 林材業労災防止専門調査員及び安全管理士等の専門家を活用し、実践的なリスクアセスメント導入のための集団指導会や各種安全講習会を通して、業界団体に対し労働災害防止のための指導・援助を行い、林材業における労働安全衛生水準の向上を図った。
- ② 厚生労働省、林野庁及び林業・木材製造業労働災害防止協会が連携し取組む「伐木作業時における労働災害防止のための特別活動」を実施し、当支部では、安全管理士・林業普及指導員による、伐木等作業現場での労働災害防止のための集団指導会を開催した。

開催日 平成30年12月10日

開催場所 愛媛県森林組合連合会中野事業所

受講者数 61名

- ③ 事業体に対し、林災防本部で作成した「今日の作業ポイント」カードや「自主点検表チェックリスト」及び「平成29年上半期における労働災害の発生状況及び特徴と対策」等を安全衛生教育講習や各種会議を通じて配布・説明するなど注意喚起に努めた。

- ④ 林業労働災害撲滅プロジェクト事業を活用して、安全衛生指導員10名による事業場への巡回指導を実施し、安全管理体制の充実、作業手順の遵守、労働災害防止対策の周知・徹底を図った。

(平成30年6月～平成31年3月 計100回)

- ⑤ 愛媛労働局、愛媛森林管理署等と連携し、合同安全パトロールの実施や安全講習会を開催し、労働災害防止対策の周知・徹底を図った。

#### 5 労働安全衛生大会

労働安全に功績のあった安全指導員等を表彰するとともに、労働安全衛生の意識高揚を図る労働災害防止大会に参加し、労働災害の撲滅への決意を新たにした。

平成30年度（第80回）愛媛産業安全衛生大会

- ・開催日 平成30年10月3日
- ・開催場所 松山市総合コミュニティセンター

- ・受賞者 愛媛労働災害防止団体協議会会長賞  
羽藤峻一 (今治地区安全衛生指導員)

第55回全国林材業労働災害防止大会

- ・開催日 平成30年10月24日
- ・開催場所 けんしん郡山文化センター(福島県郡山市)
- ・受賞者 功績賞  
松本茂雄 (西予地区安全衛生指導員)

第77回全国産業安全衛生大会

- ・開催日 平成30年10月17日
- ・開催場所 横浜アリーナ(神奈川県横浜市)
- ・受賞者 緑十字賞  
梶原重雄 (大木坑木(有)宇和島出張所)

平成30年度年間行事

	年月日	場 所	内 容	担 当
1	H30.4.12 ~13	東温市	伐木等の業務特別教育(16名)	鋤先労安課長
2	H30.4.17	松山市	H30年度会計監査	全員
3	H30.4.20	松山市	松山水源林整備事務所安全講習会	鋤先労安課長
4	H30.4.24	松山市	第97回理事会	全員
5	H30.5.9	東温市	刈払機取扱作業安全衛生教育(43名)	鋤先労安課長
6	H30.5.17	松山市	H30年度愛媛労災防止団体協議会通常総会	鋤先労安課長
7	H30.5.23	松山市	第54回運営協議会	全員
8	H30.5.24 ~25	東温市	はい作業主任者技能講習(14名)	鋤先労安課長
9	H30.5.29	松山市	チェーンソー取扱作業指導員連絡会議	鋤先労安課長
10	H30.6.2 ~3	新居浜市	はい作業主任者技能講習(24名)	鋤先労安課長
11	H30.6.7	東京都	林材業労働災害防止協会第57回通常総代会	小倉支部長
12	H30.6.12	東温市	小型車輛系建機運転業務特別教育(33名)	鋤先労安課長
13	H30.6.13 ~14	東温市	伐木等の業務特別教育(49名)	鋤先労安課長
14	H30.6.15	東温市	刈払機取扱作業安全衛生教育(67名)	鋤先労安課長
15	H30.6.18	新居浜市	住友林業安全講習会(50名)	鋤先労安課長
16	H30.6.19	久万高原町	上浮穴林研安全講習会(78名)	鋤先労安課長
17	H30.6.20	東京都	H30年度林材業労働災害防止協会支部事務局長会議	鋤先労安課長

## 平成 30 年度年間行事

18	H30. 7. 2	松山市	H30 年度安全衛生に係る愛媛労働局長表彰式	鋤先労安課長
19	H30. 7. 18 ~19	東温市	車両系木材伐出機械の業務特別教育 (31 名)	鋤先労安課長
20	H30. 7. 24	西予市	木材製造業リスクアセスメント集団指導会 (28 名)	井上支部長他
21	H30. 7. 27	西条市	刈払機取扱作業安全衛生教育(11 名)	鋤先労安課長
22	H30. 7. 30	久万高原町	刈払機取扱作業安全衛生教育(27 名)	鋤先労安課長
23	H30. 8. 1	久万高原町	機械集材装置の運転の業務特別教育実技 (31 名)	鋤先労安課長
24	H30. 8. 3	東温市	機械集材装置の運転の業務特別教育 (34 名)	鋤先労安課長
25	H30. 8. 7	松山市	第 1 回愛媛労働局安全衛生労使専門家会議	鋤先労安課長
26	H30. 8. 8 ~9	東温市	伐木等の業務特別教育(30 名)	鋤先労安課長
27	H30. 8. 10	東温市	刈払機取扱作業安全衛生教育(46 名)	鋤先労安課長
28	H30. 8. 17	東温市	荷役運搬機械等はい作業安全衛生教育 (46 名)	鋤先労安課長
29	H30. 8. 22 ~23	東温市	はい作業主任者技能講習(20 名)	鋤先労安課長
30	H30. 8. 24	東温市	造林作業指揮者等安全衛生教育 (10 名)	鋤先労安課長
31	H30. 8. 29	久万高原町	チェーンソー伐木等業務従事者安全衛生教育 (15 名)	鋤先労安課長
32	H30. 8. 30	伊予市	木材製造業リスクアセスメント集団指導会 (24 名)	児玉支部長他
33	H30. 9. 3	松山市	林業リスクアセスメント集団指導会 (62 名)	鋤先労安課長
34	H30. 9. 7	西条市	木材製造業リスクアセスメント集団指導会 (12 名)	白石支部長他
35	H30. 9. 11	宇和島市	労働基準監督署との合同安全パトロール	鋤先労安課長
36	H30. 9. 12	西条市	木材製造業出前リスクアセスメント集団指導会 (18 名)	鋤先労安課長
37	H30. 9. 18	松山市	愛媛森林管理署・労働局との連絡調整会議	鋤先労安課長
38	H30. 9. 19 ~21	西予市	伐木等の業務特別教育(15 名)	鋤先労安課長
39	H30. 9. 26	西予市	林業リスクアセスメント集団指導会 (42 名)	鋤先労安課長
40	H30. 10. 1	広島市	中国・四国ブロック林材業安全管理推進会議	鋤先労安課長
41	H30. 10. 3	松山市	H30 年度愛媛産業安全衛生大会	小倉支部長他
42	H30. 10. 10 ~11	東温市	伐木等の業務特別教育(30 名)	鋤先労安課長
43	H30. 10. 12	東温市	刈払機取扱作業安全衛生教育(14 名)	鋤先労安課長
44	H30. 10. 15	宇和島市	労働基準監督署との合同安全パトロール	鋤先労安課長
45	H30. 10. 16	八幡浜市	空き家管理知識習得講座	鋤先労安課長
46	H30. 10. 17 ~18	横浜市	第 77 回全国産業安全大会	鋤先労安課長他
47	H30. 10. 19	松山市	伐木作業労働災害防止特別活動のための連絡調整会議	鋤先労安課長

## 平成 30 年度年間行事

48	H30. 10. 24	郡山市	第 55 回全国林材業労働災害防止大会	小倉支部長他
49	H30. 10. 31	新居浜市	住友林業安全講習会(52 名)	鋤先労安課長
50	H30. 11. 7 ~8	松山市	木材加工作業主任者技能講習 (14 名)	鋤先労安課長
51	H30. 11. 9	伊予市	刈払機取扱作業安全衛生教育(10 名)	鋤先労安課長
52	H30. 11. 12	西条市	空き家管理知識習得講座	鋤先労安課長
53	H30. 11. 14 ~15	東温市	はい作業主任者技能講習(25 名)	鋤先労安課長
54	H30. 11. 19	宇和島市	愛媛森林管理署・労働基準監督署との合同安全パトロール	鋤先労安課長
55	H30. 11. 21	四国中央市	空き家管理知識習得講座	鋤先労安課長
56	H30. 11. 26	新居浜市	刈払機取扱作業安全衛生教育(7 名)	鋤先労安課長
57	H30. 11. 30	新居浜市	林業巡回特殊健康診断 (11 名)	鋤先労安課長
58	H30. 11. 30	西条市	林業巡回特殊健康診断 (27 名)	鋤先労安課長
59	H30. 12. 3	久万高原町	林業リスクアセスメント集団指導会 (40 名)	鋤先労安課長
60	H30. 12. 5	西予市	林業巡回特殊健康診断 (47 名)	鋤先労安課長
61	H30. 12. 6	鬼北町	林業巡回特殊健康診断 (80 名)	鋤先労安課長
62	H30. 12. 7	大洲市	林業巡回特殊健康診断 (94 名)	鋤先労安課長
63	H30. 12. 8	松山市他	チェーンソー伐木等業務従事者安全衛生教育 (30 名)	鋤先労安課長
64	H30. 12. 10	松山市	伐木作業労働災害防止特別活動集団指導会 (68 名)	小倉支部長他
65	H30. 12. 12	松山市	登録教習機関連絡会議	鋤先労安課長
66	H30. 12. 13	東温市	林業巡回特殊健康診断 (49 名)	鋤先労安課長
67	H30. 12. 14	久万高原町	林業巡回特殊健康診断 (59 名)	鋤先労安課長
68	H30. 12. 18	愛南町	労働基準監督署との合同安全パトロール	鋤先労安課長
69	H30. 12. 27	八幡浜市	労働基準監督署との合同安全パトロール	鋤先労安課長
70	H31. 1. 21	松山市	松山水源林整備事務所安全講習会(39 名)	鋤先労安課長
71	H31. 1. 30 ~31	東温市	伐木等の業務特別教育(38 名)	鋤先労安課長
72	H31. 2. 6 ~7	東温市	はい作業主任者技能講習(16 名)	鋤先労安課長
73	H31. 2. 15	久万高原町	刈払機取扱作業安全衛生教育(14 名)	鋤先労安課長
74	H31. 2. 25	東京都	林災防全国支部長会議	小倉支部長他
75	H31. 3. 6	松山市	第 2 回愛媛労働局安全衛生労使専門家会議	鋤先労安課長
76	H31. 3. 14 ~15	久万高原町	伐木等の業務特別教育(15 名)	鋤先労安課長
77	H31. 3. 18	新居浜市	刈払機取扱作業安全衛生教育(8 名)	鋤先労安課長

## 財産目録

平成 31 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

科目	事項	金額
1. 資産の部		
<b>【流動資産】</b>		<b>8,513,827</b>
現金		87,978
預金		7,320,778
	普通預金 伊予銀行松山駅前支店(1158173)	4,620,181
	普通預金 愛媛銀行本店(0174857)	2,700,597
未収金	H30 年度愛媛県補助事業	1,105,071
<b>【特定資産】</b>		<b>7,411,552</b>
全国大会費用積立金	普通預金 伊予銀行松山駅前支店(3521444)	2,411,552
機器備品等積立金	定期預金 愛媛銀行本店	5,000,000
<b>資産合計</b>		<b>15,925,379</b>
2. 負債の部		
<b>【流動負債】</b>		<b>707,968</b>
未払金	H30 年度県補助事業に係る安全指導員謝金	315,000
前受金	H31 年度講習受講料	320,580
預り金	H31年 3 月分講師謝金源泉徴収税	9,188
未払消費税等	H30 年度事業分	63,200
<b>【引当金】</b>		<b>7,411,552</b>
全国大会費用引当金		2,411,552
機器備品等引当金		5,000,000
<b>負債合計</b>		<b>8,119,520</b>
<b>正味財産</b>		<b>7,805,859</b>

## 貸借対照表

平成 31 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
<b>流動資産</b>	<b>8,513,827</b>	<b>流動負債</b>	<b>707,968</b>
現金	87,978	未払金	315,000
普通預金(伊予銀行)	4,620,181	前受金	320,580
普通預金(愛媛銀行)	2,700,597	預り金	9,188
仮払金	0	仮受金	0
未収金	1,105,071	未払消費税	63,200
<b>特定資産</b>	<b>7,411,552</b>	<b>引当金</b>	<b>7,411,552</b>
普通預金 1	2,411,552	全国大会費用引当金	2,411,552
定期預金 2	5,000,000	機器備品等引当金	5,000,000
		<b>基本金</b>	<b>7,805,859</b>
		繰越剰余金	9,048,515
		当期欠損金	△ 1,242,656
<b>合計</b>	<b>15,925,379</b>	<b>合計</b>	<b>15,925,379</b>

※林災防本部会計規程が変更になり、一部、勘定科目などが変わっています。

災防団体は一般の会社ではないため、利益・資本金という概念がありません。

ということで、H27 年度までの「利益剰余金」の部は「基本金」になりました。

それに伴い、H27 年度までの「利益剰余金」のうち、定期預金相当分を「引当金」に振り替えました。

**利益剰余金(H27 年度まで) = 引当金 + 基本金(H28 年度から)です。**

林材業労災防止協会会計規程第 59 条により、

毎事業年度における決算上の「剰余金」は翌事業年度に繰り越すものとし、

毎年度における「欠損金」は、前年度剰余金を取り崩して補てんするものとします。

H28 年度からは、剰余金処分案で、剰余金を利益準備金・特別積立金に振り替えることはしません。

財産目録を添付しますので、資産の状況はそちらからも確認できます。

## 損益計算書

自 平成 30 年 4 月 1 日  
至 平成 31 年 3 月 31 日

### 1. 収入の部

(単位:円)

借 方				
科目	予算額	H30 年度末	差引増減額	摘要
<b>I 会費収入</b>	<b>143,000</b>	<b>140,000</b>	<b>△ 3,000</b>	
1.会費収入	143,000	140,000	△ 3,000	
<b>II 事業収入</b>	<b>12,483,000</b>	<b>10,364,285</b>	<b>△ 2,118,715</b>	
1.講習会収入(技能講習)	2,000,000	1,543,470	△ 456,530	5 回
" (その他講習)	8,800,000	6,881,565	△ 1,918,435	22 回
2.巡回健診負担金収入	1,000,000	1,242,750	242,750	各団体より健診費用
3.事業収入	66,000	79,500	13,500	図書他販売収入
4.県補助事業収入	617,000	617,000	0	県プロジェクト事業
<b>II 事業外収入</b>	<b>81,000</b>	<b>156,019</b>	<b>75,019</b>	
1.受取利息	1,000	762	△ 238	預金利息
2.雑収入	80,000	155,257	75,257	労災保険事務手数料 空き家管理講師謝金
<b>収入合計(A)</b>	<b>12,707,000</b>	<b>10,660,304</b>	<b>△ 2,046,696</b>	

## 損益計算書

自 平成 30 年 4 月 1 日

至 平成 31 年 3 月 31 日

### 2. 支出の部

(単位:円)

貸 方				
科目	予算額	H30 年度末	差引増減額	摘要
<b>I 事業費</b>	<b>7,487,000</b>	<b>7,071,246</b>	<b>△ 415,754</b>	
1. 講習会費(技能講習会費)	900,000	1,124,182	224,182	
〃 (その他講習会費)	4,108,000	3,312,438	△ 795,562	
2. 健診負担金	910,000	846,523	△ 63,477	
3. 広報費	35,000	39,000	4,000	図書他購入費用
4. 県補助事業費	1,234,000	1,358,143	124,143	
5. 支部活動費	300,000	390,960	90,960	理事会・執行役員会旅費
6. 事務委託費	(3,000,000)	(3,000,000)	(0)	事務委託費合計 (木材協会へ)
<b>II 一般管理費</b>	<b>5,220,000</b>	<b>4,831,714</b>	<b>△ 388,286</b>	
1. 事務委託費	2,500,000	2,500,000	0	人件費(木材協会へ)
2. 消耗品費	300,000	48,600	△ 251,400	事務用品費
3. 通信運搬費	100,000	40,737	△ 59,263	切手代他
4. 支払手数料	30,000	19,918	△ 10,082	振込手数料他
5. 会議費	100,000	94,730	△ 5,270	総会資料等
6. 団体負担金	130,000	130,000	0	本部大会費用他
7. 賃借料	1,300,000	1,315,461	15,461	講習管理システム 車・パソコンリース料 (木材協会へ)
8. 旅費交通費	550,000	577,141	27,141	本部会議出張他
9. 雑費	10,000	8,814	△ 1,186	
10. 租税公課	200,000	96,313	△ 103,687	消費税・利息源泉分
<b>支出合計</b>	<b>12,707,000</b>	<b>11,902,960</b>	<b>△ 804,040</b>	

収入合計－支出合計＝ △1,242,656

「集団指導会」、「特殊健診促進事業」、「伐木の作業時における労働災害防止のための特別活動」は国庫補助金からの収入であるため、林災防本部での決算になります。

H27年度までは、各事業収入-各事業支出=0で損益計算書に計上していましたが、

H28年度からは「国庫補助金事業収支」として別掲にさせていただきます。

また、予算欄、決算額差異欄に関しましても収支相償であることから予算を立てる必要がないので割愛させていただきます。

各事業の詳細な内容は前頁「事業報告」をご覧ください。

(別掲)

## 国庫補助金事業収支

自 平成 30 年 4 月 1 日

至 平成 31 年 3 月 31 日

収入の部

支出の部

借方	金額	貸方	金額	摘要
林業巡回特殊健康診断事業収入	866,444	林業巡回特殊健康診断事業費	866,444	事務費+健診費
林業チェーンソー取扱労働者健診促進事業収入	159,200	林業チェーンソー取扱労働者健診促進事業費	159,200	調査事務費
「集団指導会」事業収入	680,292	「集団指導会」事業費	680,292	実施回数 7 回
伐木の作業時における労働災害防止のための特別活動事業収入	162,759	伐木の作業時における労働災害防止のための特別活動事業費	162,759	事務費
合計	1,868,695	合計	1,868,695	

## 監 事 の 意 見 書

私達監事は平成30年度の理事の職務の執行状況及び支部の経理状況を監査するため、法令及び支部規約に従い、平成31年4月10日支部長より提出された事業報告書・貸借対照表・損益計算書を監査したので、次のとおり意見をのべます。

- 1 事業報告書は支部の状況を正しく示しているものと認めます。
- 2 貸借対照表及び損益計算書は法令及び公正妥当と認められる会計原則に従い、支部の損益の状況を正しく表示しているものと認めます。

平成31年4月10日

林業・木材製造業労働災害防止協会愛媛県支部

監 事 瀬村 要二郎 印 

監 事 林 満茂 印 

監 事 大森 雄 印 

令和元年度 事業計画案

**基本方針**

林業・木材製造業においては、新たな森林管理システムによって、林業の成長産業と森林資源の適切な管理の両立を図る林業の大きな改革が進められている。

このような中、愛媛県においても、主伐期を迎えた人工林の伐採が本格化するに伴い、林材業における新規雇用労働者の増加や他業種からの新規事業者の参入等による未熟練労働者の増加や高年齢労働者の増加などが見込まれ、林業、木材製造業の労働災害の発生リスクの増大が懸念される。

林業・木材製造業の労働災害は近年、減少傾向にあるが、依然として労働災害の発生割合は高く、死傷年千人率(平成29年値)では、林業は32.9で、全産業平均2.2の15.0倍、木材製造業は9.9で、全産業平均の4.5倍であり、他産業に比べて著しく高い状況が続いているため、労働安全衛生の推進が急務となっている。

このようなことから、「第13次林材業労働災害防止計画」の2年目として、同計画の目標達成に向けて、本部と一体となり、安全衛生教育を始めとするさらなる労働安全衛生意識の向上に努めるとともに、国の施策を踏まえた、林業、木材製造業における労働災害防止対策の効果的な取組を行っていく。

なお、本年2月に労働安全衛生規則の一部が改正されたことから、改正内容の周知を図るとともに、伐木等の業務に係る特別教育の既受講者に対する追加の特別教育を実施していく。

**1 実践的リスクアセスメント導入のための安全衛生教育訓練事業**

実践的リスクアセスメント手法の導入促進・定着を図るため、事業主、安全管理担当者及び労働者を対象に、平成27年度から実施している「実践的なリスクアセスメント集団指導会」を引き続き実施し、労働災害の減少に向けた自主的な安全衛生活動を促進する。

なお、林業向けに、追加版テキストが作成されていることから、再受講者に対する演習のみの指導会も開催する。また、木材製造業向けには、要望に応じて、事業場に出張して行う出前の(集団)指導会も開催する。

①リスクアセスメント集団指導会の開催

3回 80人(林業2地区、木材製造業1地区)

②リスクアセスメント出前(集団)指導会の開催

2回 40人(木材製造業2地区)

## 2 安全衛生教育事業

林材業における労働安全衛生教育の専門機関として、労働安全衛生意識の向上と、法令等に基づく資格取得の周知啓発に努め、労働安全衛生法令、通達等に基づく技能講習及び安全教育等の講習を実施する。

特に、伐木等の業務に係る特別教育の既受講者に対する追加の特別教育（補講）を本年8月以降、重点的に実施する。

昨年に引き続き、愛媛県生涯現役促進地域連携事業推進協議会からの要請を受けた「空き家管理知識習得講座」に講師を派遣する。

区 分		回数
技能講習	はい作業主任者	4
	木材加工用機械作業主任者	1
特別教育	伐木等の業務	5
	伐木等の業務（補講）	20
	小型建設機械運転業務	1
	車両系木材伐出機械運転業務	3
	機械集材装置の運転業務	1
安全衛生教育	刈払機取扱作業者	4
	チェーンソーを用いて行う伐木等の業務従事者	2
	荷役運搬機械等によるはい作業従事者	1
（空き家管理知識習得講座）		（6）
計		42

上記のほか、「緑の雇用事業」、「林業労働力確保支援センター」等関係団体からの要望により、適宜講習を追加実施する。

## 3 振動障害予防のための特殊健診等の定着促進事業

林業では未だ振動障害に認定される労働者が後を絶たないため、チェーンソー取扱労働者における振動障害の予防と早期発見を図るため、次の事項を実施する。

- ①「林業チェーンソー取扱労働者雇用状況等及び振動特殊健診実施状況調査票」により変動調査と健診状況の把握を行うとともに、受診指導、勧奨及び相談業務を行う。
- ②林業振動障害巡回特殊健康診断を実施する。

（一人親方等に対しては、林業労働災害撲滅プロジェクト事業を活用）

- ・実施時期 令和元年12月
- ・実施対象 7地区 390人

③愛媛労働局及び各労働基準監督署と協力して巡回特殊健診の周知及び未受診事業場への受診勧奨を進める。

#### 4 「林材業労働災害防止計画（5カ年計画）」の目標達成に向けた取組の実施

近年の木材製造業における労働災害の発生状況は、死傷年千人率及び度数率ともに製造業の中で突出しており、林業は、国の「第13次労働災害防止計画」では、重点業種として追加される等労働災害の防止が喫緊の課題となっているため、次の事項を実施する。

① 林材業労災防止専門調査員及び安全管理士等の専門家を活用し、林業・木材製造業の団体に対し労働災害防止のための指導・援助を行うとともに、林材業における労働安全衛生水準の向上を図る。

② 愛媛労働局、愛媛森林管理署及び愛媛県等と連携し、合同安全パトロールの実施や発注機関としてのメリットを生かした安全講習会を開催し、労働安全衛生規則の一部改正の内容についての周知を図るとともに、伐木等の業務に係る特別教育の既受講者に対する追加の特別教育の受講勧奨及び労働災害防止対策の周知・徹底を図る。

③ 林業労働災害撲滅プロジェクト事業を活用して、安全衛生指導員による事業場への巡回指導を実施し、安全管理体制の充実、作業手順の遵守、労働災害防止対策の周知・徹底を図る。

(令和元年6月～令和2年3月 計100回)

#### 5 労働災害防止大会等への参加

労働安全に功績のあった方々を表彰するとともに安全衛生意識の高揚と安全衛生情報の共有を図るため、会員に対し、全国林材業労働災害防止大会への参加勧奨に努めるとともに、愛媛県においても、愛媛労働基準協会主催の愛媛産業安全衛生大会への協力と参加勧奨に努める。

- ・愛媛産業安全衛生大会の開催  
(10月3日(木) 愛媛県松山市)
- ・全国林材業労働災害防止大会の開催  
(10月16日(水) 佐賀県唐津市)

## 2019年度 技能講習・特別教育等実施計画

	講習科目	受講料 +テキスト (消費税込)	実施月日	実施場所
技能講習	はい作業主任者 (法別表 18-16)	¥14,526	5月22日(水)～23日(木)	愛媛県森の交流センター (東温市)
			8月21日(水)～22日(木)	
		¥14,795	11月6日(水)～7日(木)	
			2020年 1月29日(水)～30日(木)	
木材加工用機械作業主任者 (法別表 18-1)	¥18,700	10月30日(水)～31日(木)	愛媛県林業会館 (松山市)	
特別教育	小型車両系建設機械運転業務 (整地、運搬、積込、掘削用) (則36-9)	¥8,560	6月11日(火)	愛媛県森の交流センター (東温市)
	伐木等の業務 (則 36-8)	¥14,580	4月10日(水)～11日(木)	愛媛県森の交流センター (東温市)
			6月12日(水)～13日(木)	
		¥14,850	8月7日(水)～8日(木)	
			10月9日(水)～10日(木)	
	車両系木材伐出機械等の運転業務 ・走行集材機械(則 36-6③) ・伐木等機械(則 36-6②) ・架線集材機械(則36-7②)	¥33,840	7月17日(水)～18日(木)	
機械集材装置の運転の業務 (則36-7)			¥7,509	8月2日(金)
安全衛生教育	刈払い機取扱作業 (基発 66)	¥9,180	5月8日(水)	松山流域森林組合 (東温市)
			6月14日(金)	
			8月6日(火)	
	¥9,350	10月4日(金)		
チェーンソーを用いて行う伐木等の業務従事者(基発 260)	未定	未定	未定	
荷役運搬機械等によるはい作業従事者(基発 76、148)	¥6,966	8月23日(金)	愛媛県森の交流センター (東温市)	

## 収支予算書(案)

自 平成 31 年 4 月 1 日

至 令和 2 年 3 月 31 日

### 1. 収入の部

(単位:円)

借 方				
科目	H30 年度 決算額	予算額	差引 増減額	摘要
<b>I 会費収入</b>	<b>140,000</b>	<b>141,000</b>	<b>1,000</b>	
1.会費収入	140,000	141,000	1,000	141 件分
<b>II 事業収入</b>	<b>10,364,285</b>	<b>12,383,000</b>	<b>2,018,715</b>	
1.講習会収入(技能講習)	1,543,470	1,500,000	△ 43,470	5 回
" (その他講習)	6,881,565	9,000,000	2,118,435	13 回+ 伐木等の補講講習
2.巡回健診負担金収入	1,242,750	1,200,000	△ 42,750	各団体より健診費用
3.事業収入	79,500	66,000	△ 13,500	図書他販売収入
4.県補助事業収入	617,000	617,000	0	県プロジェクト事業
<b>II 事業外収入</b>	<b>156,019</b>	<b>151,000</b>	<b>△ 5,019</b>	
1.受取利息	762	1,000	238	預金利息
2.雑収入	155,257	150,000	△ 5,257	労災保険事務手数料 空き家管理講師謝金
<b>収入合計(A)</b>	<b>10,660,304</b>	<b>12,675,000</b>	<b>2,014,696</b>	

## 収支予算書(案)

自 平成 31 年 4 月 1 日

至 令和 2 年 3 月 31 日

### 2. 支出の部

(単位:円)

貸 方				
科目	H30 年度 決算額	予算額	差引 増減額	摘要
<b>I 事業費</b>	<b>7,071,246</b>	<b>7,200,000</b>	<b>128,754</b>	
1.講習会費(技能講習会費)	1,124,182	1,000,000	△ 124,182	人件費含む
"    (その他講習会費)	3,312,438	3,500,000	187,562	人件費含む
2.健診負担金	846,523	850,000	3,477	巡回特殊健診に係る費用 (会場借料など)
3.広報費	39,000	50,000	11,000	図書他購入費用
4.県補助事業費	1,358,143	1,400,000	41,857	愛媛県補助金×2
5.支部活動費	390,960	400,000	9,040	理事会・執行役員会旅費
6.事務委託費	(3,000,000)	(3,500,000)	(500,000)	事務委託費(木材協会へ)
<b>II 一般管理費</b>	<b>4,831,714</b>	<b>5,475,000</b>	<b>643,286</b>	
1.事務委託費	2,500,000	3,000,000	500,000	人件費(木材協会へ)
2.消耗品費	48,600	50,000	1,400	コピー・事務用品費など
3.通信運搬費	40,737	120,000	79,263	切手代他(伐木等の補講 講習通知など)
4.支払手数料	19,918	20,000	82	振込手数料他
5.会議費	94,730	100,000	5,270	総会資料等
6.団体負担金	130,000	130,000	0	本部大会費用他
7.賃借料	1,315,461	1,300,000	△ 15,461	講習管理システム 車・パソコン(木材協会へリ ース料)
8.旅費交通費	577,141	600,000	22,859	本部会議出張他
9.雑費	8,814	5,000	△ 3,814	
10.租税公課	96,313	150,000	53,687	消費税・利息源泉分
<b>支出合計</b>	<b>11,902,960</b>	<b>12,675,000</b>	<b>772,040</b>	

収入合計－支出合計＝ 0

第3号議案 役員の改選について